



FALCON 201 運用マニュアル

v.1.0.0

ステークホルダーの皆様へ

この度は、【A Smart】にご関心いただきまして、
ありがとうございます。

本マニュアルには、AIoTカメラ（FALCON
201）を設置に必要な作業や準備について順
を追って記載しております。

本マニュアルに沿ってご進行いただければ、
円滑に「A Smart」のご利用を開始いただけます。

ぜひお役立ていただけますと幸いです。

Part.1 概要説明 (p.3～)

- A Smart の構成要素
- 主なカメラ状態の種類
- 主なWebページの種類
- 設置の流れ

Part.2 作業/操作の手順 (p.8～)

Part.3. 補足説明 (p.37～)

- 設置後の検証ポイント
 - 「こんなとき、どうする？」
- 本資料以外のお役立ちコンテンツ

Part.1 概要説明

前提知識として、A Smart の概要をご説明いたします。

- A Smart の構成要素
- 主なカメラ状態の種類
- 主なWebページの種類
- 設置の流れ

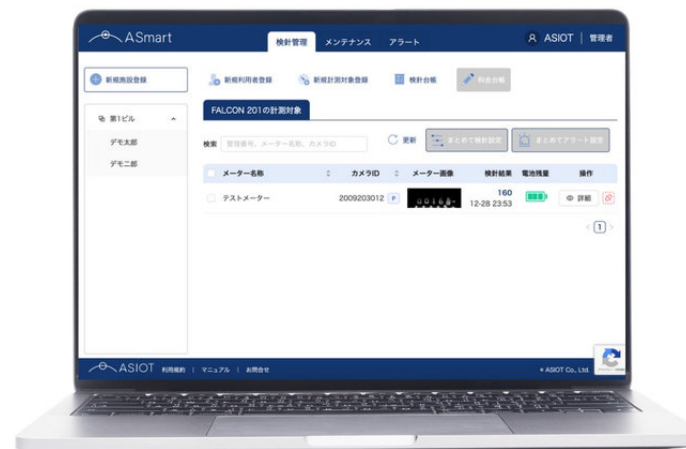
A Smart の構成要素

A Smart は「カメラ」と「Webページ」で構成されます。

カメラ

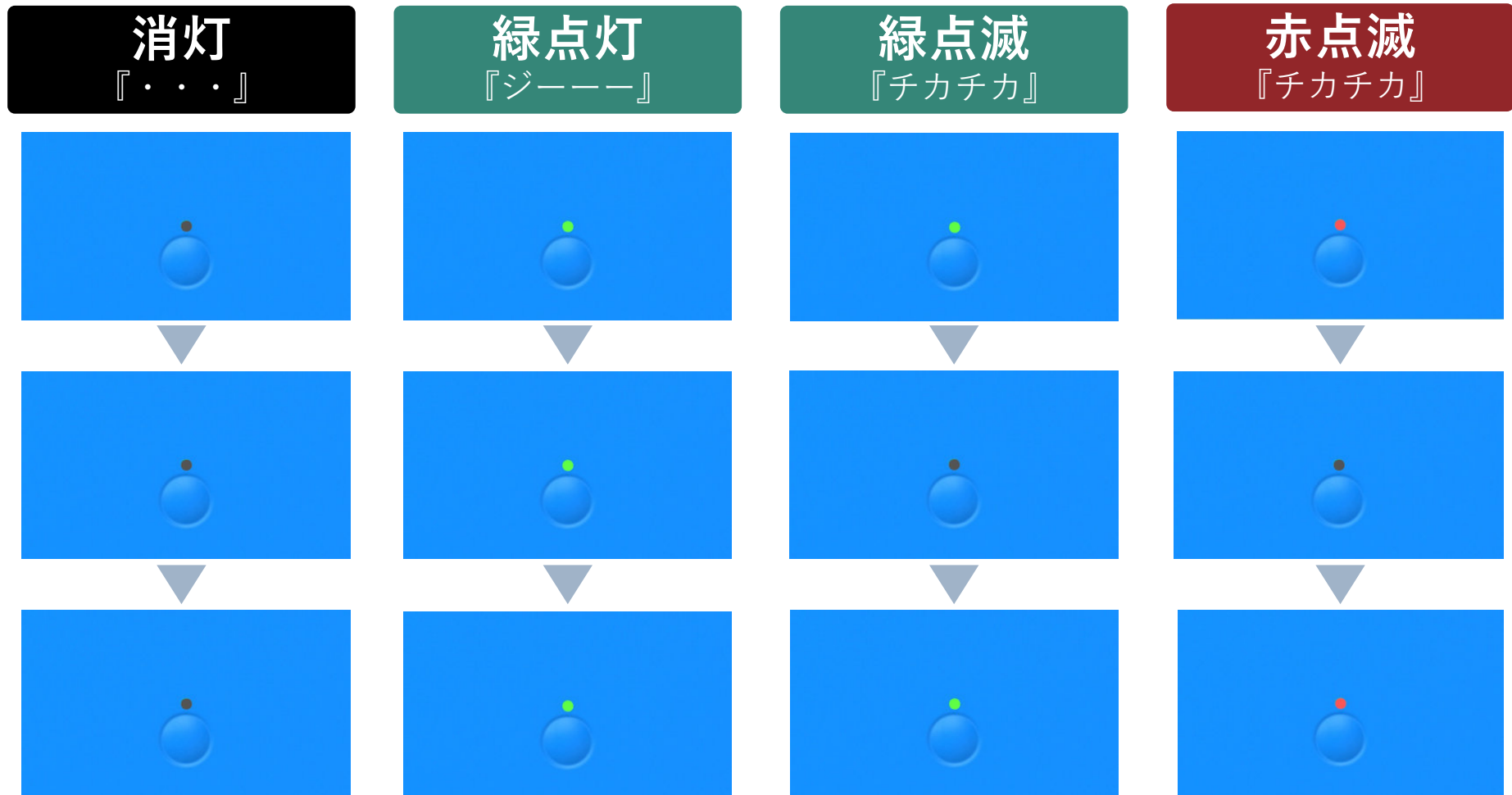
+

Webページ



主なカメラ状態の種類

カメラ状態は、大別すると以下の4種類です。
意味は場面により異なり、Part.2の関連ページで説明します。



主なWebページの種類

よく利用するWebページは、以下の3種類です。

ログインページ

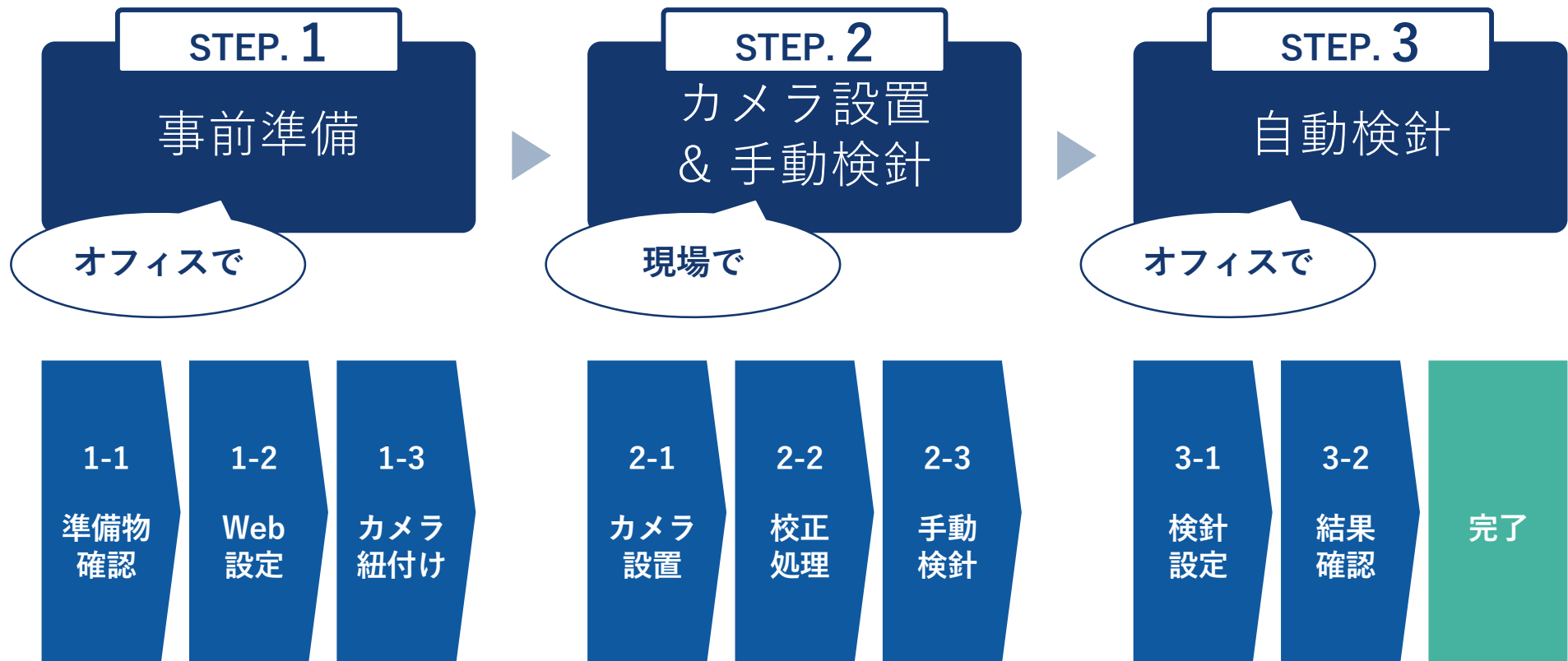
検針管理ページ

検針詳細情報ページ



設置の流れ

設置作業は、以下の「3STEP」で完結します。



Part.2 作業/操作の手順

設置の流れに沿って、作業/操作の手順をご説明いたします。

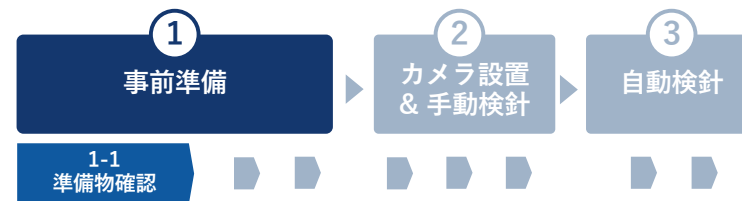
設置の流れ

まずは「Step. 1 事前準備」をご説明します。



STEP
1-1

準備物を確認する



現場作業に必要なモノは、大別すると以下の4種類です。

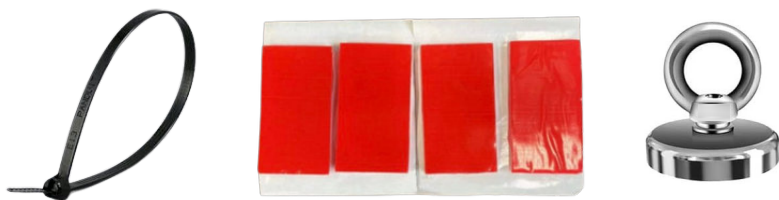
カメラ本体



固定治具



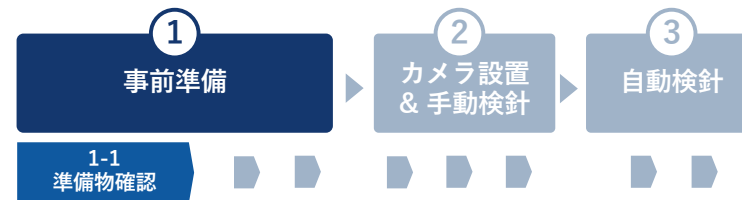
固定器具



作業用具



準備物を確認する



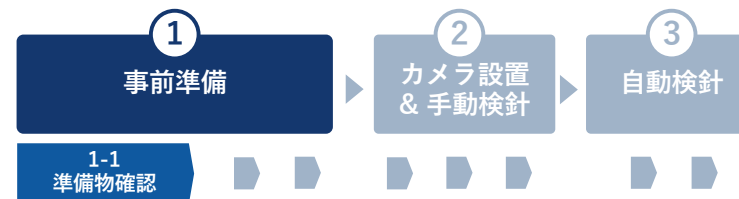
準備物の確認は、以下の手順で進めるとスムーズです。

(1) 設置メーターと設置方法の決定

(2) 設置メーターに基づき使用する治具の選定

(3) 設置方法に基づき必要なモノの調達

(4) ドコモ仕様端末とソフトバンク仕様端末の識別



(1) 設置メーターと設置方法の決定

設置する現場環境によって最適な設置方法は異なります。

以下の情報を参考にさせていただきますと幸いです。

ご判断に迷われる場合は弊社担当者へご相談ください。

設置方法の種類
(資料)



<https://asmart.tayori.com/q/helppage/detail/568965/>

電気メーターの
設置方法 (動画)



<https://www.youtube.com/watch?v=LSjJ1GUCdz8>

水道メーターの
設置方法 (動画)



https://www.youtube.com/watch?v=FI6_eVrIdOY

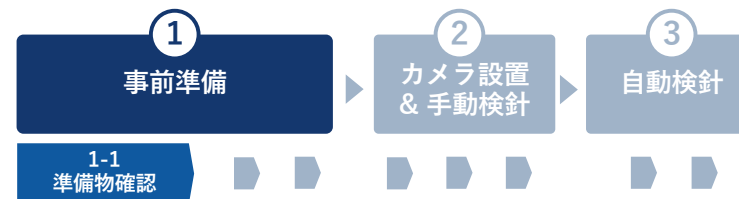
その他メーターの
設置方法 (動画)



https://www.youtube.com/watch?v=F_r-a7CnE-s

STEP
1-1

準備物を確認する



(2) 設置メーターに基づき使用する治具の選定

固定治具は、設置メーターに応じて以下の3種類があります。

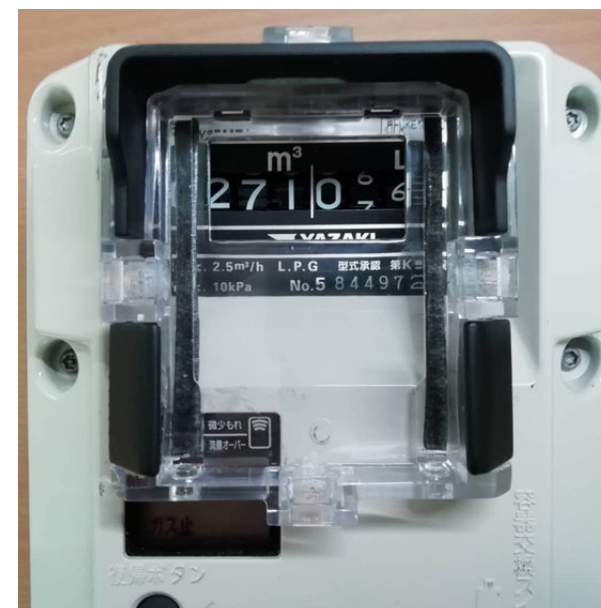
水道メーター用
固定治具

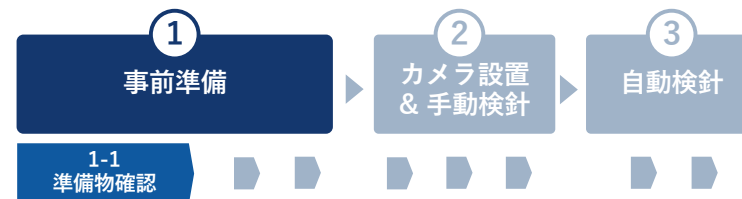


L字型
固定治具



汎用
固定治具





(3) 設置方法に基づき必要なモノの調達

必要に応じて固定器具や作業用具を追加で調達してください。
よく使われる用具の一例を以下でご紹介しますが、
ご判断に迷われる場合は弊社担当者へご相談ください。

結束バンド
(インシュロック)



透明アクリル
テープ



ニッパ/ハサミ



25mmの強力



バンド結束工具



脚立

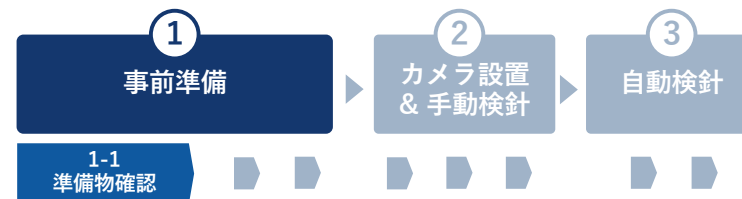


ガラス掃除用
クロス



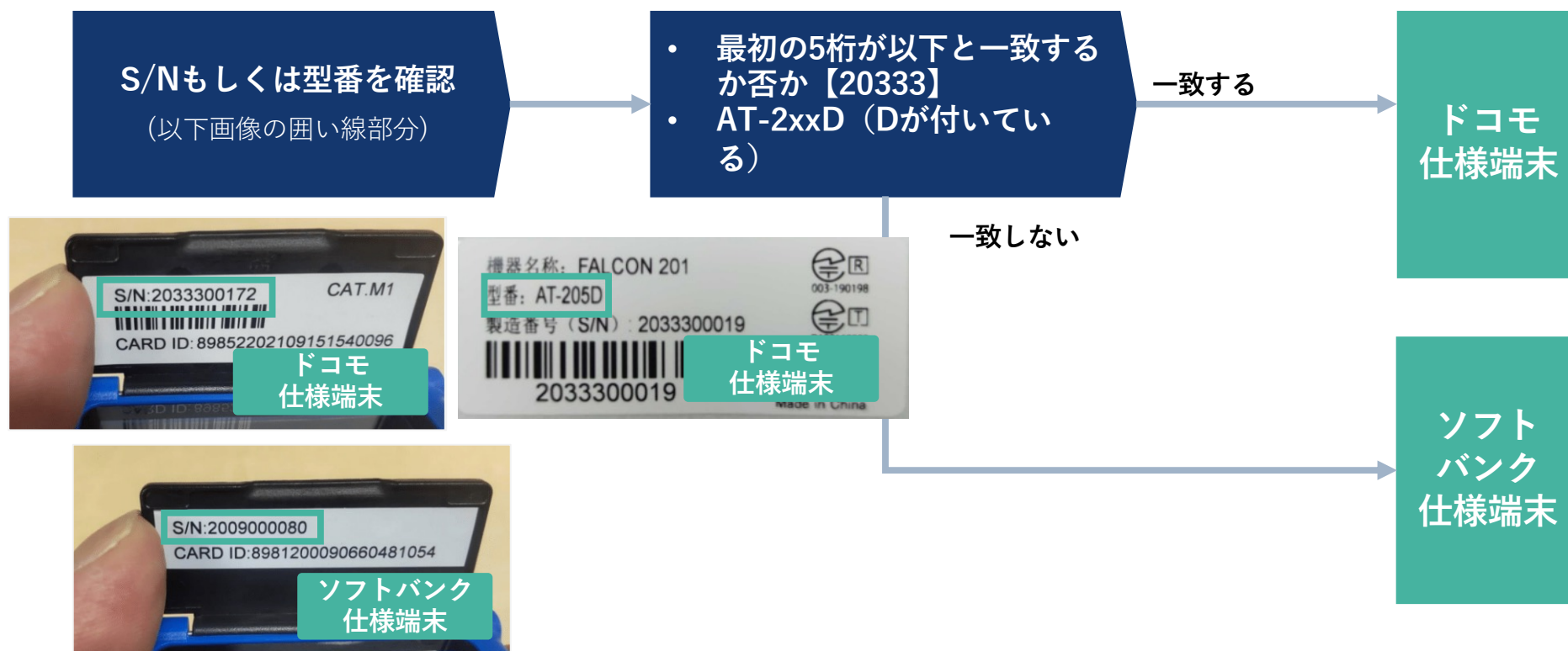
STEP
1-1

準備物を確認する

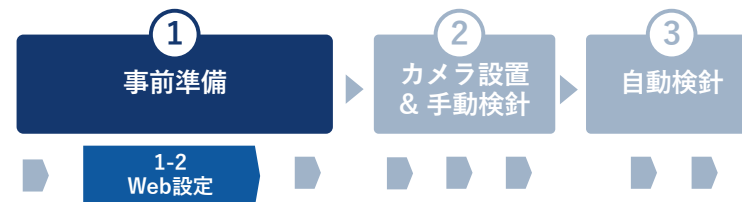


(4) ドコモ仕様端末とソフトバンク仕様端末の識別

端末のS/N(シリアルナンバー)によって識別が可能です。
S/Nはカメラの裏にある「黒いめくり扉」を上げると確認できます。



Webページの設定を行う



Webページの設定は、以下4点を順番に実施します。

(1) 初回ログイン

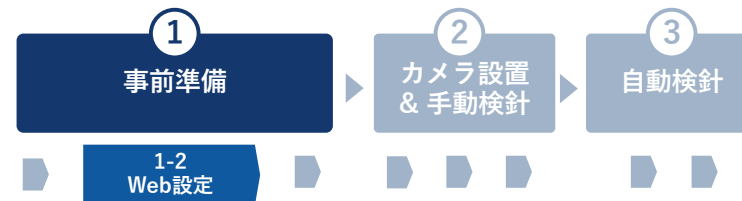
(2) 対象施設を「新規施設」として登録

(3) 利用者を「新規利用者」として登録

(4) 計測対象メータの管理番号を登録

STEP 1-2

Webページの設定を行う



(1) 初回ログイン

(1) 出荷メールに記載されているURLへアクセス

早速ですが、お申し込み頂きました下記商品を本日出荷しましたので
詳細をご連絡致します。

- 商品名: OCRカメラ
- AT-501 1台 ID:1000000003
- 治具: 2個
- 固定用二つ折れアーム 1個
- マイククランプ 1個

※ヤマト追跡番号: 4991 0032 9722 (届払い便でのお届けとなります)
お届け予定: 11月(月)AM

尚、貴社のアカウント(プロフェッショナルプラン)は下記になります。

- URL: <https://asmart.ai/meter>
- アカウント: prientchemical@asmart.ai
- パスワード: UYIT37eGAG

(ログインしてから、右下にマニュアルのリンクがあるので、参照しながらお試しください。)
また、下記URLにていくつか書類・ビデオ説明があるので、
ご参照のほどよろしくお願いたします。

https://asmart.ai/meter/manual/11_Appendix/index.html

クリック

(2) 「アカウント名」「初期パスワード」を入力

あらゆる業務をIoT化する
ASmart

アカウント

パスワード

☐ ログイン状態を保持する

入力

クリック

(3) 利用規約の内容を確認し、同意をクリック

ASmart 検針管理 メンテナンス アラート A ASIOT | 管理者

3. 前項の定めにかかわらず、ユーザーは、法律、裁判所又は政府機関の命令、要求又は要請があった場合には、それに必要な範囲で、秘密情報を開示することがあります。

第 40 条 (本利用規約の変更)

1. 当社は、本サービスの内容を自由に変更できるものとします。

2. 当社は、本利用規約を変更できるものとします。当社は、本利用規約を変更する場合には、変更の内容及び変更の効力発生時期を、当該効力発生時期までに当社所定の方法で告知するものとします。告知された効力発生時期以降にユーザーが本サービスを利用した場合には、ユーザーは、本利用規約の変更と同意したものとみなします。

第 41 条 (紛争可能性)

本契約のいずれかの条項又はその一部が無効又は執行不能と判断された場合であっても、本利用規約の残りの規定及び一部が無効又は執行不能と判断された規定の残りの部分は、継続して完全に効力を有し、当社及びユーザーは、当該無効若しくは執行不能の条項又は部分を違法とし、執行力を持たせるために必要な範囲で修正し、当該無効若しくは執行不能な条項又は部分の範囲並びに法律的及び経済的に同等の効果を確保できるように努めるものとします。

第 42 条 (準拠法及び専属的合意管轄)

本契約の準拠法は日本法とします。本契約に関して生じ得る一切の紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

2020年10月01日 制定・実施
2021年02月08日 改訂
2022年07月01日 改訂
2022年11月11日 改訂

クリック

(4) 検針管理ページが表示されたらログイン完了

ASmart 検針管理 メンテナンス アラート A ASIOT | 管理者

新規検針登録 新規利用登録 新規計測対象登録 検針台帳 検針台帳

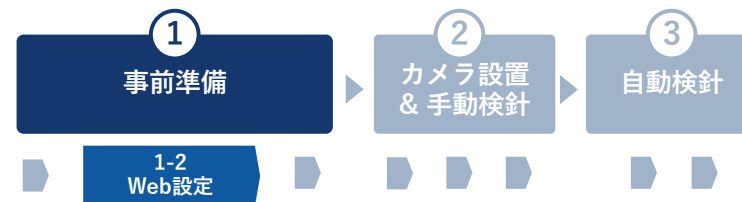
FALCON 201の計測対象

検索 管理番号: メーカー名: カメラID

管理番号	メーカー名	カメラID	メーカー画像	検針結果	カメラ状態	電池残量	操作
000	テストメーカー	2008203012		160	12:28 23.53	検針	詳細

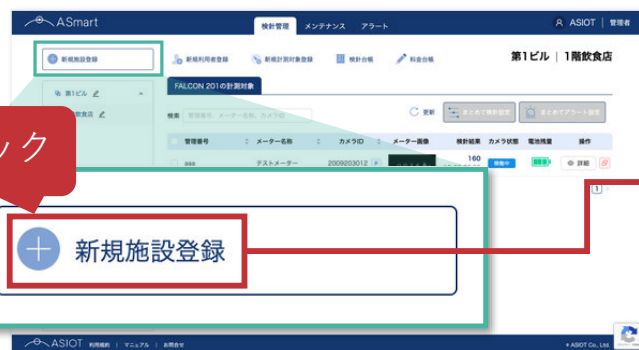
STEP
1-2

Webページの設定を行う



(2) 対象施設を「新規施設」として登録

(1) 検針管理ページへアクセスし
「新規施設登録」をクリック



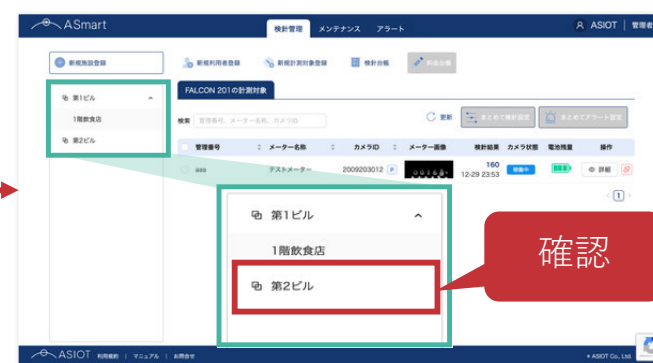
(2) 「施設名称」と「施設住所」を入力



(3) 「OK」をクリック

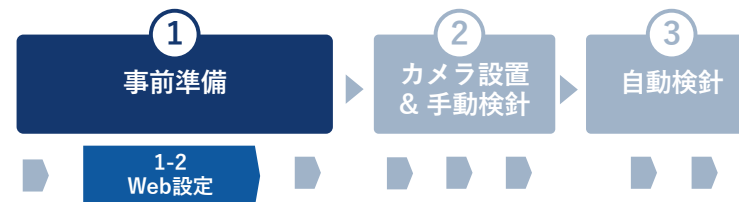


(4) 画面枠内に施設が表示されたら登録完了



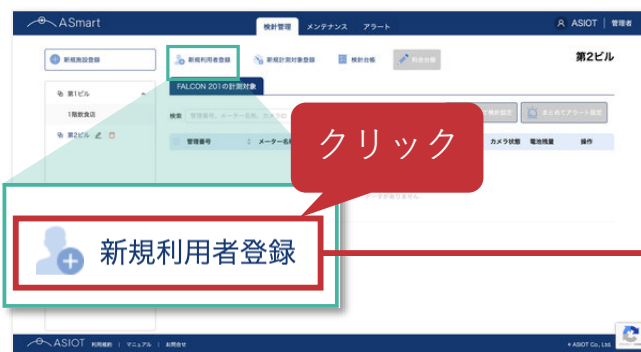
STEP
1-2

Webページの設定を行う



(3) 利用者を「新規利用者」として登録

(1) 検針管理ページへアクセスし
「新規利用者登録」をクリック



(2) 各項目の情報を入力



(3) 「OK」をクリック

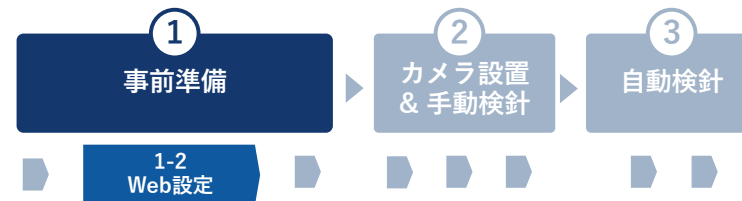


(4) 該当する施設の下に
利用者が表示されたら登録完了



STEP
1-2

Webページの設定を行う



(4) 計測対象メータの管理番号を登録

(1) 検針管理ページへアクセスし、「新規計測対象登録」をクリック



(2) 各項目の情報を入力・選択

入力

(3) 「OK」をクリック

クリック

(4) 画面上に情報が表示されたら登録完了



STEP
1-3

カメラをシステムと紐付ける



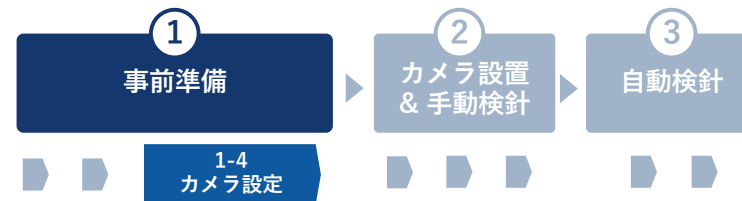
カメラ紐付けには、以下の2種類の方法があります。
(以下の(1-a)もしくは(1-b)のいずれかの方法で紐付けることができます。)



※紐付け前のカメラ状態になるため、『初期化済』、『通信確認』、または『休眠』の状態のいずれかの可能性があります。

STEP
1-4※

カメラの検針日を設定



自動検針を行う時刻を、以下の手順で設定します。

(1) 検針管理ページから、対象メーターの「詳細」をクリック



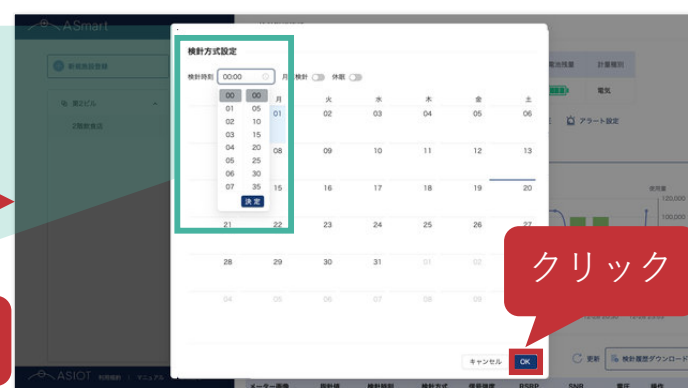
(2) 「検針方式設定」をクリック



(3) 検針日時を設定し、「決定」をクリック



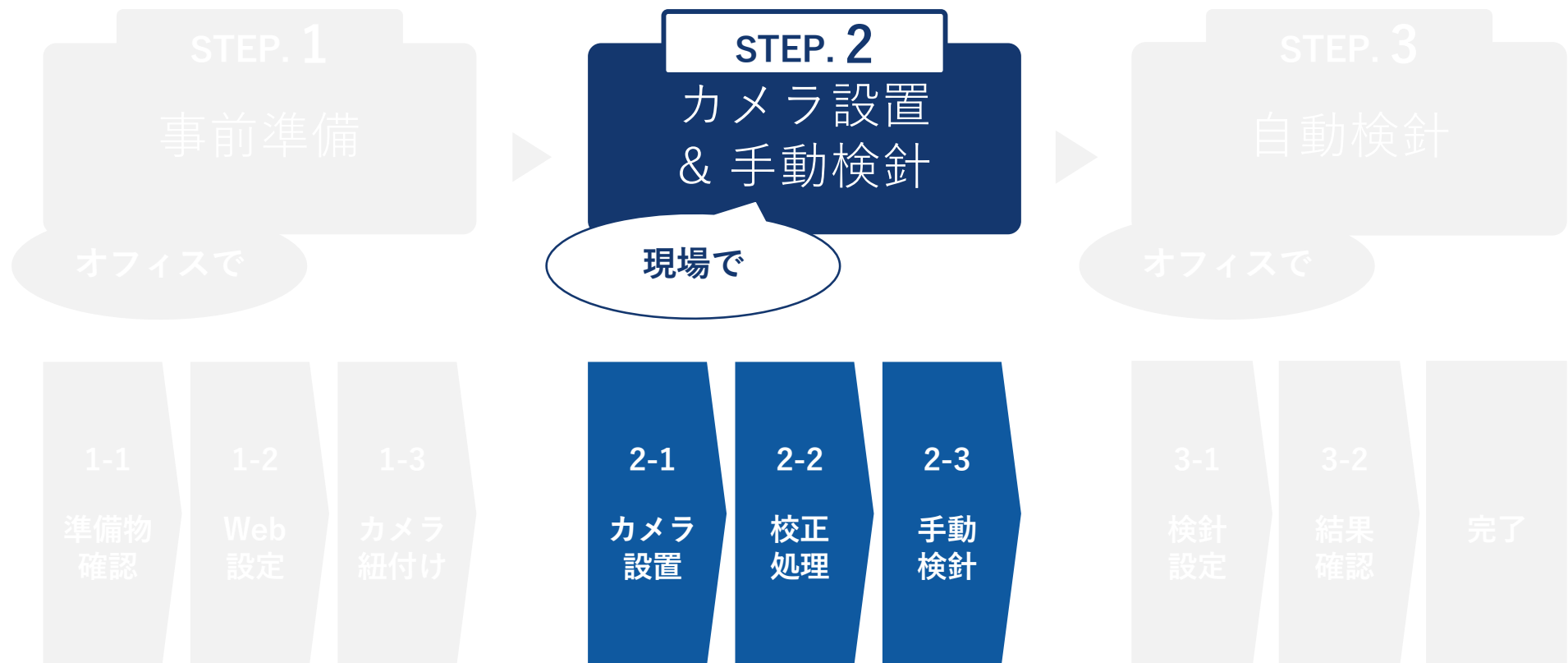
(4) 「OK」をクリックしたら設定完了



※ スモール・スタンダードプランの場合、必ず校正処理の前に設定してください。

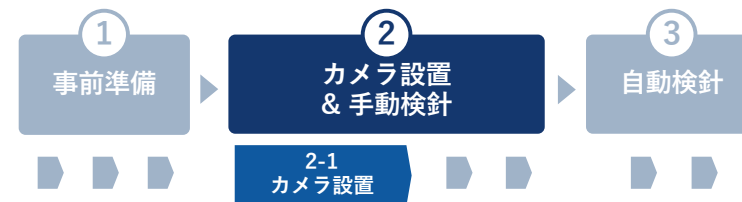
設置の流れ

次に「Step. 2 カメラ設置&手動検針」をご説明します。



STEP
2-1

カメラを設置する



カメラの設置作業は、以下の流れで進行していただきます。

(1) 現場作業の実施体制を決める

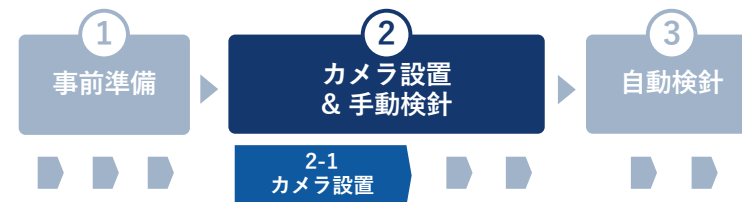
(2) 現場作業の実施日を決める

(3) 必要なモノを持ち現場に向かう

(4) 現場で設置作業を実施する

STEP
2-1

カメラを設置する



(1) 現場作業の実施体制を決める

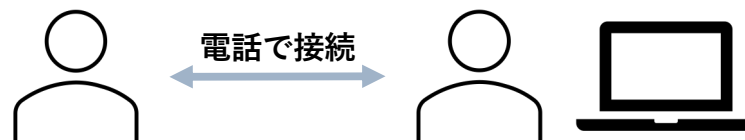
現場作業の実施体制は、以下の2パターンがあります。
体制パターンを決定し、各作業を担う方の人選をお願いします。

(a) 現場でWeb操作



現場

(b) 遠隔でWeb操作



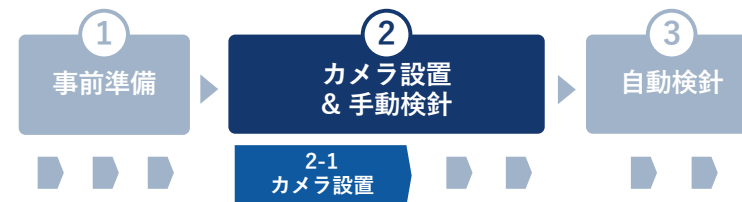
現場

オフィス

※Web操作は、PC・タブレット・スマートフォンなどの端末から、A Smartにログインして対応していただくことが可能です。

STEP
2-1

カメラを設置する



(2) 現場作業の実施日を決める

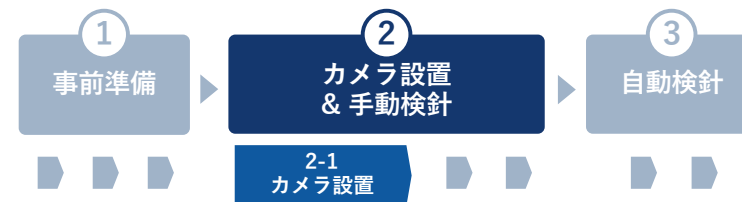
(3) 必要なモノを持ち現場に向かう

**STEP1-1「準備物確認」の段階で確認・調達したモノを持ち
メーターを設置する現場に向かいます。**

**作業実施にあたってご不安な点やご不明点があれば
弊社担当者へお気軽にお問い合わせくださいませ。**

STEP
2-1

カメラを設置する

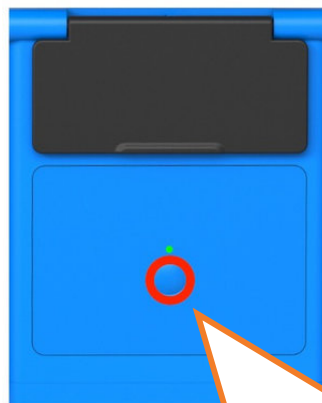


(4) 現場で設置作業を実施する

(1) メータ表面の汚れを拭き取る



(2) カメラのSTARTボタンを1回押し、「緑点灯」状態にする



(3) すぐにSTARTボタンを2秒以上長押しし、フラッシュを点灯させる

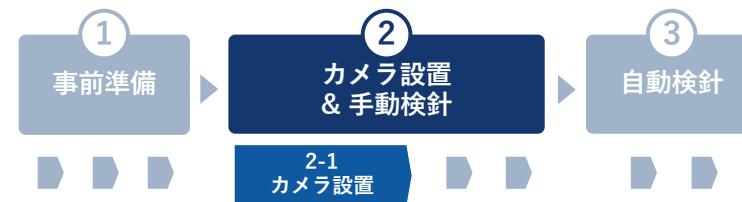


(4) 治具を設置し、カメラ本体の目視窓から設置位置を調整しつつ、カメラを設置



※STARTボタンを押してから点灯するまでの所要時間は、端末によって異なります。

- ・ソフトバンク仕様端末：即時点灯
- ・ドコモ仕様端末：3～4秒後に点灯



再度のご案内となりますが、
設置する現場環境によって最適な設置方法は異なります。
以下の情報を参考にさせていただきますと幸いです。
ご判断に迷われる場合は弊社担当者へご相談ください。

設置方法の種類
(資料)



<https://asmart.tayori.com/q/helppage/detail/568965/>

電気メーターの
設置方法 (動画)



<https://www.youtube.com/watch?v=LSjJ1GUCdz8>

水道メーターの
設置方法 (動画)



https://www.youtube.com/watch?v=FI6_eVrIdOY

その他メーターの
設置方法 (動画)



https://www.youtube.com/watch?v=F_r-a7CnE-s

カメラの校正処理を行う



カメラの校正処理は、以下3点を順番に実施します。

(1) カメラを操作し画像を転送

(2) Webページ上で数字領域を設定

(3) Webページ上で目視で初期値を設定

カメラの校正処理を行う

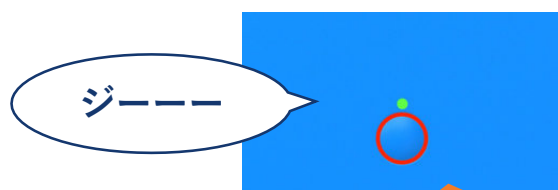


(1) カメラを操作し画像を転送

(1) カメラのSTARTボタンを1回押し、「緑点灯」状態にする

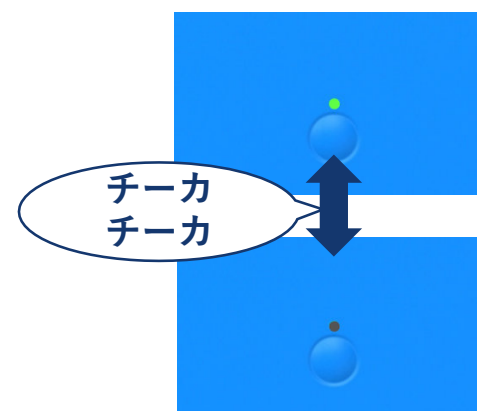
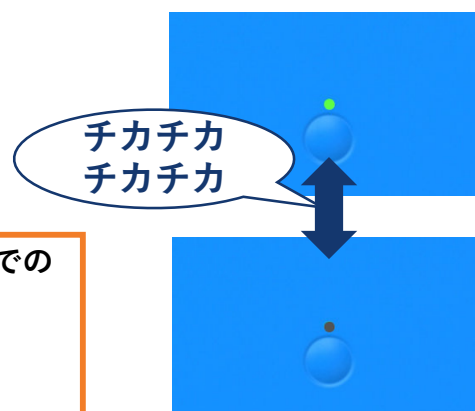
(2) すぐにもう1回STARTボタンを押すと、「緑点滅」(1秒に1回点滅)に切り替わる

(3) そのまま数分待ち、「ゆっくりとした緑点滅」(2秒に1回点滅)切り替われば処理成功



※STARTボタンを押してから点灯するまでの所要時間は、端末によって異なります。

- ・AT-203以外：即時点灯
- ・AT-203：3～4秒後に点灯



★ ボタンを連打しすぎるとカメラにロックがかかってしまいます。落ち着いてランプ状態を確認しながらご対応をお願いします。

★ ランプが「赤点滅」になった場合は処理失敗です。ネットワークの影響もあるため、複数回処理を試していただき、それでも上手く行かなければ弊社担当者へお問合せください。

STEP 2-2

カメラの校正処理を行う



(2) Webページ上で数字領域を設定

(1) 検針管理ページから、
対象メーターの「詳細」をクリック



(2) 「カメラ校正」をクリック



(3) 「領域検出」をクリック



(4) 一行ずつ数字領域を調整し設定



STEP 2-2

カメラの校正処理を行う



(3) Webページ上で目視で初期値を設定

(5) メーターの検針値を目視で確認し、
一つずつ数字を入力

(6) 「OK」をクリック

(7) 検針履歴一覧に
指針値が反映されたら設定完了

メーター画像	指針値	検針時刻	検針方式	信号強度	RSRP	SNR	電圧	操作
	160	2023-12-29 23:53	手動検針		-91dBm	8dB	3057mV	

確認

STEP 2-3

手動検針を実施する

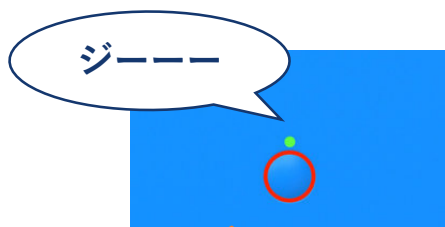


(1) カメラのSTARTボタンを1回押し、「緑点灯」状態にする

(2) すぐにもう1回STARTボタンを押すと、「緑点滅」(1秒に1回点滅)に切り替わる

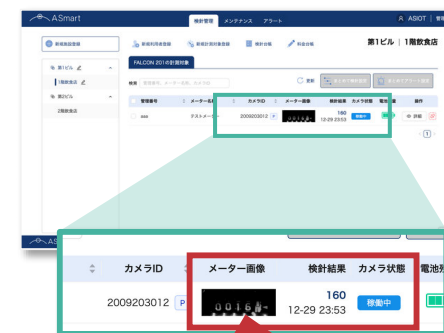
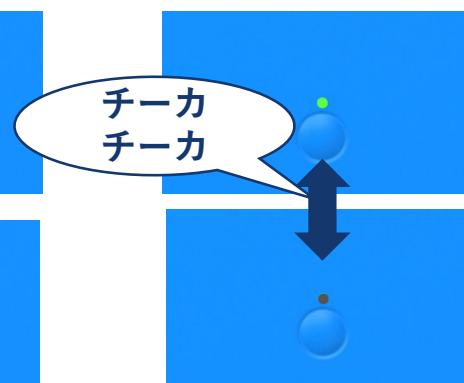
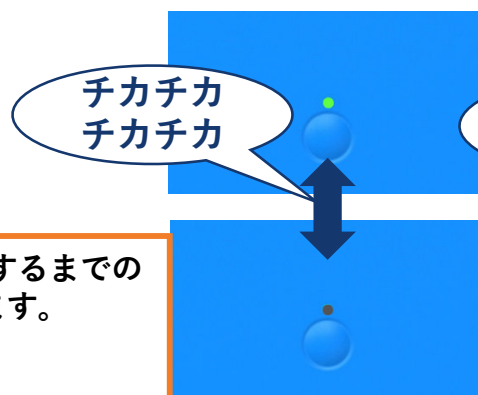
(3) そのまま数分待ち、「ゆっくりとした緑点滅」(2秒に1回点滅)に変化すれば処理成功

(4) Webで検針管理ページにアクセスし、メーター画像と指針値が反映されていることを確認または、カメラ状態が「稼働中」と表示されていることを確認



※STARTボタンを押してから点灯するまでの所要時間は、端末によって異なります。

- ・ AT-203以外：即時点灯
- ・ AT-203：3～4秒後に点灯



確認

★ ボタンを連打しすぎるとカメラにロックがかかってしまいます。落ち着いてランプ状態を確認しながらご対応をお願いします。

★ ランプが「赤点滅」になった場合は処理失敗です。ネットワークの影響もあるため、複数回処理を試していただき、それでも上手く行かなければ弊社担当者へお問い合わせください。

設置の流れ

最後に「Step. 3 自動検針」をご説明します。



STEP 3-1

自動検針の時刻を設定する



自動検針を行う時刻を、以下の手順で設定します。

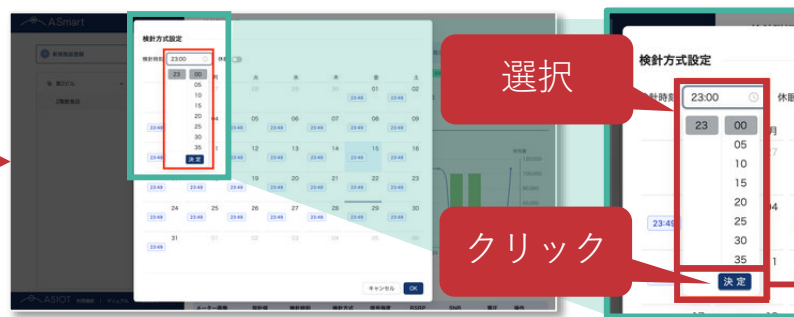
(1) 検針管理ページから、対象メーターの「詳細」をクリック



(2) 「検針方式設定」をクリック



(3) 00:00～23:55の間で検針時刻を設定し、「決定」をクリック



(4) 「OK」をクリックしたら設定完了



※上記の「3-1 検針設定」の作業までは、現場で完了させてしまうことも多いです。

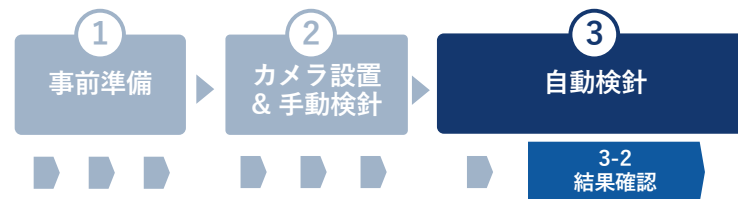
※検針時刻の設定はプランによって、画面イメージが異なります。

上記ではPoCの際にご利用いただく「プロフェッショナルプラン」の画面キャプチャを掲載しています。
より詳しい情報は、マニュアルの以下ページをご覧ください。

https://asmart.ai/meter/manual/6_User/6_5/6_5_4/index.html

STEP
3-2

自動検針の結果を確認する



カメラから転送された自動検針の結果を
以下の手順で確認します。

(1) 設定検針時刻が
過ぎるのを待つ※

(2) 検針管理ページから、対象メーター
の「詳細」をクリック

(3) 検針履歴一覧に検針結果が問題なく
反映されていることを確認



メーター画像	検針値	検針時刻	検針方式	信号強度	RSRP	SNR	電圧	操作
	160	2023-12-29 23:53	定期検針		-91dBm	8dB	3057mV	

確認

※ 検針時刻の設定が反映されるのは、次に定期検針を行ったタイミングとなります。すなわち、新しい設定が適用されるのは、さらにその次のタイミングとなります。設定を即座に反映させたい時は手動検針を実施していただきますようお願いいたします。

Part.3 補足説明

設置に関わる情報をいくつかご紹介いたします。

- 設置後の検証ポイント
- 「こんなとき、どうする？」
- 本資料以外のお役立ちコンテンツ
- A Smartサポートプログラムについて
- 運用・不具合発生時フローについて

設置後の検証ポイント

設置後の検証ポイントは、以下の3つです。

- (a) そこでネットワークが繋がるか
- (b) そこに設置できるか
- (c) きちんと読み取りができるか

- ★ ネットワークのつながりやすさはソフトバンク仕様端末とドコモ仕様端末で異なります。拠点で両方の端末でお試しいただくことを推奨いたします。
- ★ メータを設置する場所が鉄製の蓋で覆われてしまう場合は、電波受信強度(RSSI)への影響が大きくなりネットワークが繋がりにくくなってしまいます。その際は、樹脂製の蓋に取り替えるか、少し隙間を開けるかの対策をご検討ください。
- ★ メーターが浸水してしまい、水没や泥に覆われてしまうことが懸念される場所で設置する際透明アクリルテープを用いた上で、固定治具の蓋をしっかりと閉めることが大切です。
- ★ 結露が懸念される場所に設置する際は、透明アクリルテープを複数枚用いて、結束バンドで強力な圧力を固定した上で、固定治具の蓋をしっかりと閉めることが大切です。

通信状況の測定項目

通信状況に関わる主な項目は以下表の通りです。

測定項目	RSSI	RSRP	RSRQ	SINR
測定名	Received Signal Strength Indicator 電波の受信信号強度	Reference Signal Received Power 基準信号受信電力	Reference Signal Received Quality 基準信号受信品質	Signal to Inter-ference plus Noise Ratio 信号対干渉雑音比
定義	アンテナで受信している信号の強度を数値化したもの	電波強度（いわゆるアンテナの本数）をdBmという単位で数値化したもの	電波の受信品質を数値化したもの	信号とノイズ+干渉の比
	アクセスポイント（基地局）またはルータからの信号（システム帯域全体）の電力を測定した値	線区間のトラフィックに関係なく、端末と基地局の位置関係で決まる基準信号の受信電力値	RSSIとRSRPから計算される、受信した基準信号の品質を示す指標	受信信号のうち、所望信号の電力と所望信号以外（他セル/他セクタからの干渉波および熱雑音）の電力比であり、品質の指標
	総電力値とトラフィックの影響	基地局の設置条件やエリアの障害物などに影響	基地局の混雑具合とノイズや干渉具合の目安	所望信号の干渉や雑音の影響
単位	dBm（デシベルミリワット）	dBm（デシベルミリワット）	dB（デシベル）	dB（デシベル）
測定値目安	-30dBm：非常に強い -67dBm：とても強い ～-70dBm：強い -80dBm：弱い -90dBm～：使えない（NG） 0に近いほど電波が強いが、電波の品質はRSSIだけでなく、ノイズも影響する。	-44dBm：非常に強い -90dBm：とても強い ～-100dBm：強い -120dBm：とても弱い -140dBm～：使えない（NG）	-3～-5dB：非常に良い -6～-8dB：とても良い ～-10dB：良い -13dB～：悪い -19.5dB～：非常に悪い（NG）	～20dB：非常に良い ～10dB：とても良い 0～：非常に悪い（NG）

★ RSRPは-105dBm以上、SINRは0dB以上が推奨値です。
ただし、上記の推奨値はあくまでも一般的な目安であり、推奨値に満たない場合でも接続できることがありますので、一度現地でお試しくださいます。

★ 通信状況が悪い場合には、弊社から現地環境に合わせて対応策をご提案いたしますので、弊社担当者へ一度ご連絡を頂戴できますと幸いです。

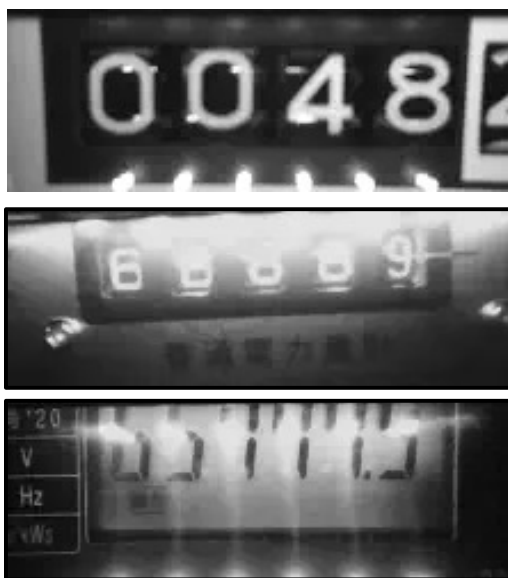
補足

設置悪い例 – 読み取り認識率へ影響

メーターの読取り認識率を向上させるためには、
数字がはっきりと見える必要があります。

悪い例(1)

数字領域が見切れている
(撮影範囲に収まっていない)



固定治具の設置位置を
調整してください

悪い例(2)

光の反射が強すぎる/弱すぎる



リモートの調光補正 (P43) を
行ってください

「こんなとき、どうする？」 [1/7]

質問
1

初期パスワードを変更したいときは？

質問
2

数値部分の光の反射が強すぎて上手く読み取れないときは？

質問
3

「計量種別」について自社独自の設定を登録したいときは？

質問
4

手動検針を行う際に、例えば地下深くにカメラを設置する場合など、設置する場所でカメラのSTARTボタンを押すことができないときは？

質問
5

カメラを上下逆さ向きに設置しなければならないときは？

質問
6

小数位第一まで識字するにあたり、現在画像に小数位第一が映り込んでいない（切れている）画像に対して、どうすればよいですか？

「こんなとき、どうする？」 [1/6]

質問
1

初期パスワードを変更したいときは？

回答
1

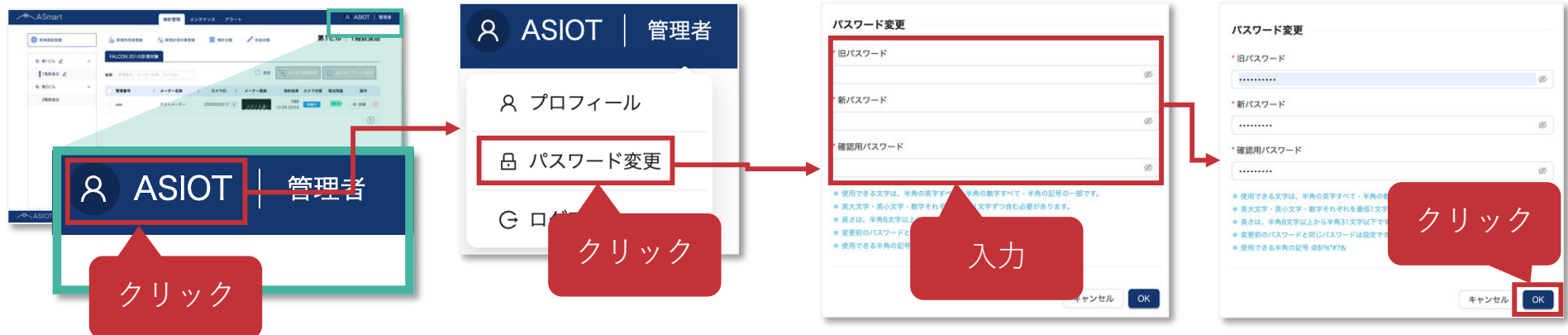
以下の手順で、変更を実施してください。

(1) ログイン後、
画面右上の人マーク部分をクリック

(2) 「パスワード変更」
をクリック

(3) 各項目を入力

(4) OKをクリックしたら
変更完了



「こんなとき、どうする？」 [2/6]

質問
2

数値部分の光の反射が強すぎて上手く読み取れないときは？

回答
2

以下の手順で、カメラのLED調光補正を行ってください。
(出荷時は「自動」で発光量を調整する設定になっています)

(1) ログイン後、調光補正したいメーターの検針詳細情報ページへアクセス

(2) 「調光補正」をクリック

(3) 上部フラッシュと下部フラッシュの発光量を設定

(4) OKをクリックしたら設定完了



※ビデオ説明
<https://www.youtube.com/watch?v=QY5MswZoHdg>

★ 調光補正の設定値は即座に反映されません。カメラと端末が通信をした時に反映されるため、すぐに反映させたい場合は「手動検針」(p.33)を行ってください。

「こんなとき、どうする？」 [3/6]

質問
3

「計量種別」について自社独自の設定を登録したいときは？

回答
3

以下の手順で、「新規計量種別登録」を行うことで設定可能です。

(1) ログイン後、
メンテナンスページへ
アクセス

(2) 「新規計量種別登
録」をクリック

(3) 各項目の情報を入力

(4) OKをクリックした
ら設定完了

検針管理 メンテナンス アラート

クリック

新規計量種別登録

クリック

新規計量種別登録

* 計量種別名称:

* 基本計量種類: * 単位:

入力

キャンセル OK

クリック

「こんなとき、どうする？」 [4/6]

質問
4

手動検針を行う際に、例えば地下深くにカメラを設置する場合など、設置する場所でカメラのSTARTボタンを押すことができないときは？

回答
4

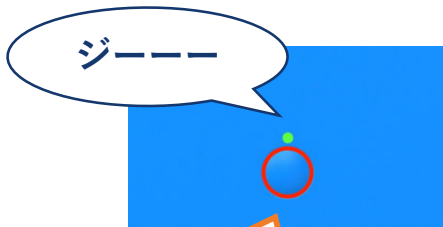
STARTボタンを押してから5分後に検針を行う「延期手動検針」という機能をご活用ください。以下の手順でご対応ください。

(1) カメラのSTARTボタンを1回押し、「緑点灯」状態にする

(2) すぐに2回連続でSTARTボタンを押す（ダブルクリック）と、しばらく「消灯」状態となる（5分後に検針が行われる）

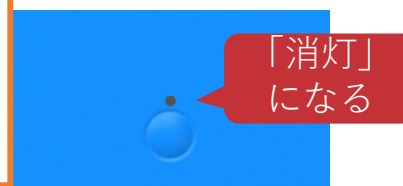
(3) 5分経過前にカメラを設置し、配電盤の扉を閉める

(4) 5分経過後、Webで検針管理ページにアクセスし、メーター画像と指針値が反映されていることを確認



※STARTボタンを押してから点灯するまでの所要時間は、端末によって異なります。

- ・AT-203以外：即時点灯
- ・AT-203：3～4秒後に点灯



確認

「こんなとき、どうする？」 [5/6]

質問
5

カメラを上下逆さ向きに設置しなければならないときは？

回答
5

以下の手順で、「カメラ校正」画面にて「回転」を行ってください。

(1) ログイン後、対象
メーターの検針詳細情
報ページへアクセス

(2) 「カメラ校正」をク
リック

(3) 「回転」をクリック

(4) OKをクリックした
ら設定完了



※ビデオ説明
<https://www.youtube.com/watch?v=VCjeeRJYAw>

★「回転」の設定は即座に反映されません。カメラと端末が通信をした時に反映されるため、すぐに反映させたい場合は「手動検針」(p.33)を行ってください。

「こんなとき、どうする？」 [6/6]

質問
6

小数位第一まで識字したいが、現在画像に小数位第一が映り込んでいない（切れている）画像に対して、どうすればよいですか？

回答
6

弊社管理画面より画像の座標を修正することが可能ですので、弊社担当者へ一度ご連絡を頂戴できますと幸いです。

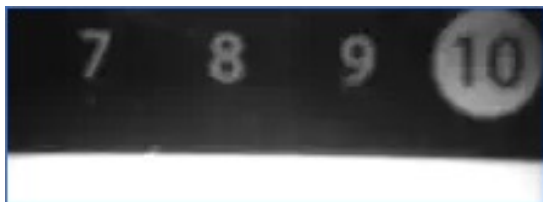
最初の画像



左に寄せた画像



より左に寄せ、なおかつ下に下げた画像



★調整可能な範囲には制限がございますので、あらかじめご了承ください。

本資料以外のお役立ちコンテンツ

以下のコンテンツも、ぜひご活用ください。

サポートサイト
(オンラインマニュアル)



[https://asmart.tayori.com/
q/helppage](https://asmart.tayori.com/q/helppage)

よくある質問と回答
(「A Smart」製品サイト)



<https://asmart.ai/faq/>

設定操作の動画
(「簡単にセットアップ」)



[https://www.youtube.com/
watch?v=npsZBY38fOU](https://www.youtube.com/watch?v=npsZBY38fOU)

何か困ったことがあったら

左下の「お問い合わせ」からお問い合わせいただけます

The screenshot shows the A Smart support interface. A callout box titled "A Smartサポートフォーム" (A Smart Support Form) is overlaid on the page, providing contact details. The callout box text includes instructions on how to use the form, operating hours (Monday-Friday 10:00-17:00), a note about response times, a link to a FAQ page, and the email address support@asiot.jp. It also features a form field for the company name and a placeholder for the answer.

A Smartサポートフォーム

A Smartに関するお問い合わせは、こちらのお問い合わせフォームをご利用ください。
お問い合わせへの回答は祝日を除く平日営業日（月曜日～金曜日 10：00～17：00）にメールで行います。

お問い合わせの内容によっては回答にお時間をいただく場合もございます。
あらかじめご了承ください。

■ 多く寄せられる質問については、よくある質問に記載しております。
例）カメラが「稼働中」の状態にならない、固定治具の種類 など
お問い合わせ前に、一度ご確認ください。

<https://asmart.tayori.com/q/helppage/>

当フォームがご利用できない場合には、以下のメールアドレス宛にお問い合わせ内容を送信ください。
support@asiot.jp

会社名 *

回答を入力

The background interface includes a sidebar with "新規施設登録" (New Facility Registration) and a list of locations: "東京横浜ビル", "東京テナント", and "北海道ビル". The top right has links for "体験版" (Experience Version) and "管理者" (Administrator). The bottom right shows a table of inspection results with columns for "検針結果" (Inspection Results), "カメラ状態" (Camera Status), "電池残量" (Battery Level), and "操作" (Operation). The table lists three entries with IDs 15509, 14354.2, and 5594, all showing "稼働中" (Operating) status and full battery levels. The bottom footer contains the ASIOT logo, links for "利用規約" (Terms of Use), "マニュアル" (Manual), and "お問い合わせ" (Contact Us), along with the ASIOT Co., Ltd. logo and "Privacy Policy" link.

ヘルプセンターのご案内

左下の「マニュアル」からご不明点や
各種マニュアルを検討いただけます

A Smart
A Smart ヘルプセンター（機能・操作・設置等のご質問への回答ページ）
Powered by Tayori

体験版 | 管理者

新規施設登録

東京横浜ビル
東京テナント
北海道ビル

A Smart に関するよくある質問と回答をまとめたヘルプページです。
機能、操作、設置等に関する情報がまとまっておりますので、
以下の検索窓からキーワードで検索してお求めの情報をご確認くださいませ。

また、初めてA Smartをご利用される際は、以下のマニュアルをご参照くださいませ。
<https://asmart.tayori.com/q/helppage/detail/589726/>

検索ワードを入力

#PoC(実証実験) #初期設定 #カメラ設置 #カメラ校正 #手動検針 #定期検針
#台帳/請求書 #グラフ #アラート #マニュアル

よくあるご質問 もっと見る

- 購入したFALCON 201のデータが「検針結果ページ」に現れていないときは？
- カメラ状態の各ステータスの意味は？
- 「検針詳細情報ページ」に「カメラ校正」のボタンが見当たらないときは？
- 手動検針を行っても、Web画面上に画像が反映されないときは？

A Smart について もっと見る

- 「A Smart」とは、どのようなサービスですか？
- 主な機能のご紹介
- システム構成
- 推奨環境について
- 「A Smart」に関連する用語集

更新

まとめて検針設定

まとめてアラート設定

検針結果	カメラ状態	電池残量	操作
15509 07-21 14:05	稼働中		詳細
14354.2 07-21 14:06	稼働中		詳細
5594 07-10 06:15	稼働中		詳細

< 1 >

ASIOT 利用規約 マニュアル お問い合わせ

ASIOT Co., Ltd. Privacy Policy

A Smartサポートプログラム（有償）について

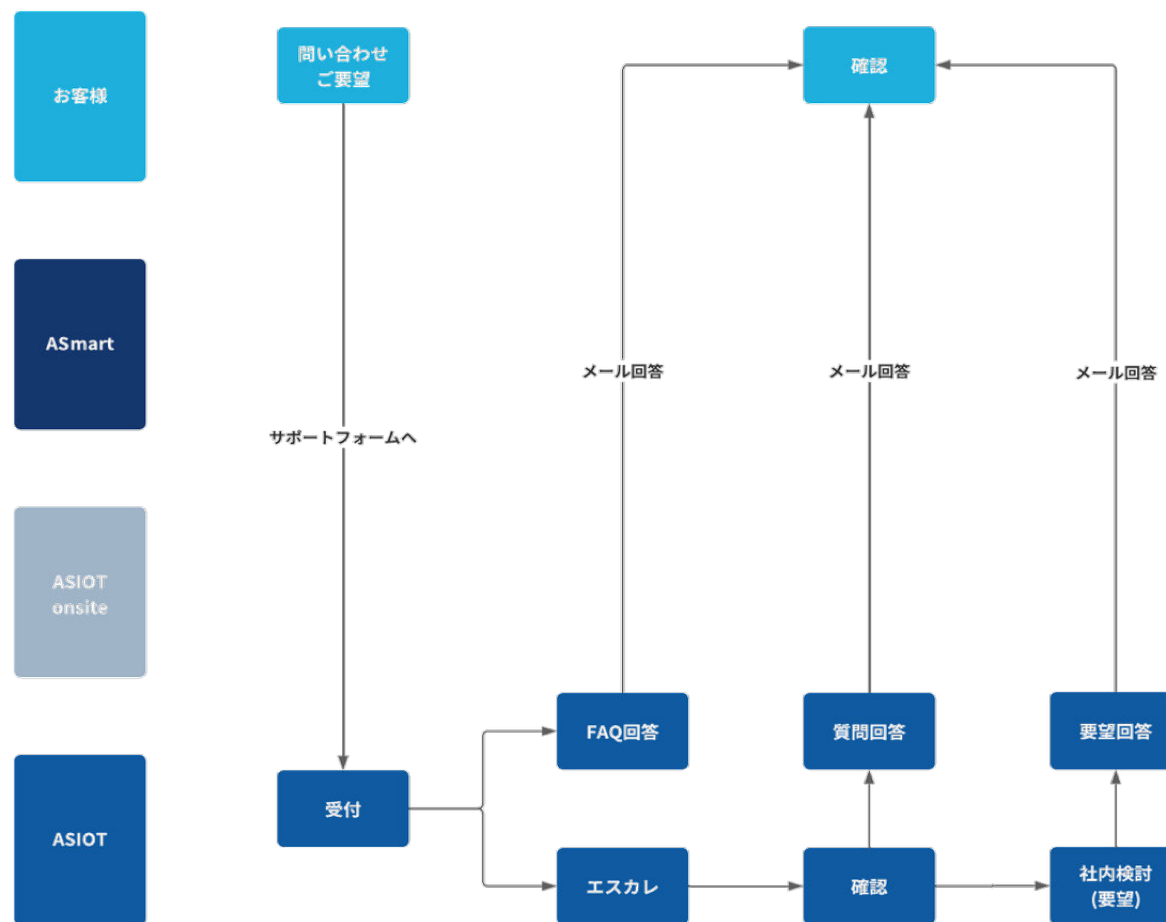
オンボーディング サポート期間	リモートサポート (電話・Web会議)	■ 内容 1. 機器設置・通信環境確認に関する支援 2. Webアプリケーション（設定）に関する支援 ■ 価格 初期費用として価格提示（別途価格表参照）	• MAX2ヶ月間のリモート支援を行います • キックオフ・振り返りMtgを実施します • Web説明会2回まで実施いたします • 電話予約サポート3回まで実施いたします
	デバイス設置	■ 内容 1. 現地設置作業 ■ 価格 現地調査・設置作業価格表参照	• キックオフ・振り返りMtgを実施します • 同日に設定が可能なカメラはMAX 1拠点15台 • 取付金具はASIOT側準備 • 6ヶ月間保証期間を設けます
ご活用期間	駆けつけ保守	■ 内容 1. 故障したカメラの交換 2. 電池交換 3. 設置作業（取付治具の是正処理を含む） ■ 価格 駆けつけ保守作業価格表参照	• ※同日に保守が可能なデバイスはすべて対応（MAX 1拠点15台） • 保守あと6ヶ月間保証期間を設けます
	セントバック修理	■ 内容 保証対象外での機器交換・修理対応は有償となります。 ※買取製品のみが対象 ■ 価格 実費	• 有償修理日数はおおよそ10営業日前後が目安です • 送料はお客様側に負担をお願いします。
全期間	設置 使用方法トレーニング	■ 内容 1. 機器設置・電池交換・通信環境確認に関する講習 2. Webアプリケーション（設定）に関する講習 3. 開発者向け講習（REST APIの使用） ■ 価格（税抜き） 1. 5万円/回（基本リモートのみ）	• 講習資料を共有します

A Smartサポートプログラム（無償）について

全期間	サポートフォーム	■ 内容 A Smartのご利用方法や不具合方法などを相談できる窓口 営業時間内では、お問い合わせの受付後、営業日3日以内にお客様へご案内をいたします。 ■ 価格 無料 ※A Smartのご利用料金に含まれます	• 対応時間は平日10時～17時となっております。 • 機器の正常性確認が必要と判断した場合、機器返送のご対応をお願いすることがございます。 • お問い合わせ内容によっては期間が伸びる可能性があります。
	無償修理・交換	• 保証対象内の無償機器交換・修理対応いたします。 • レンタル製品の契約期間中に、無償機器交換・電池供給対応いたします。	• 保証対象外での機器交換・修理対応は有償となります。 • 製品保証はこちらで参考いただけます 無償修理・交換日数はおよそ 3 営業日前後が目安です。

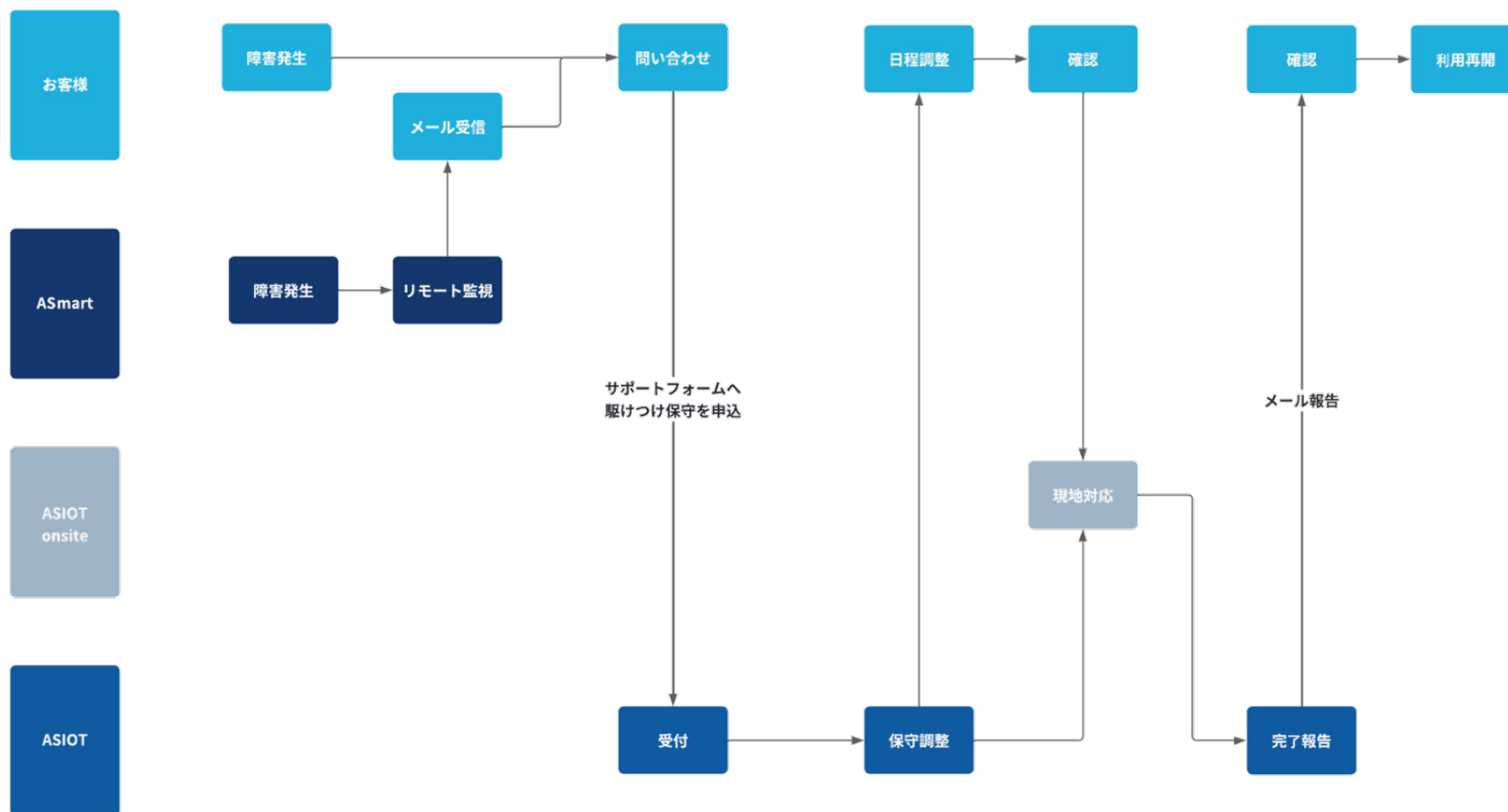
ご要望・ご質問対応フロー

サポートフォームからお問い合わせいただけます



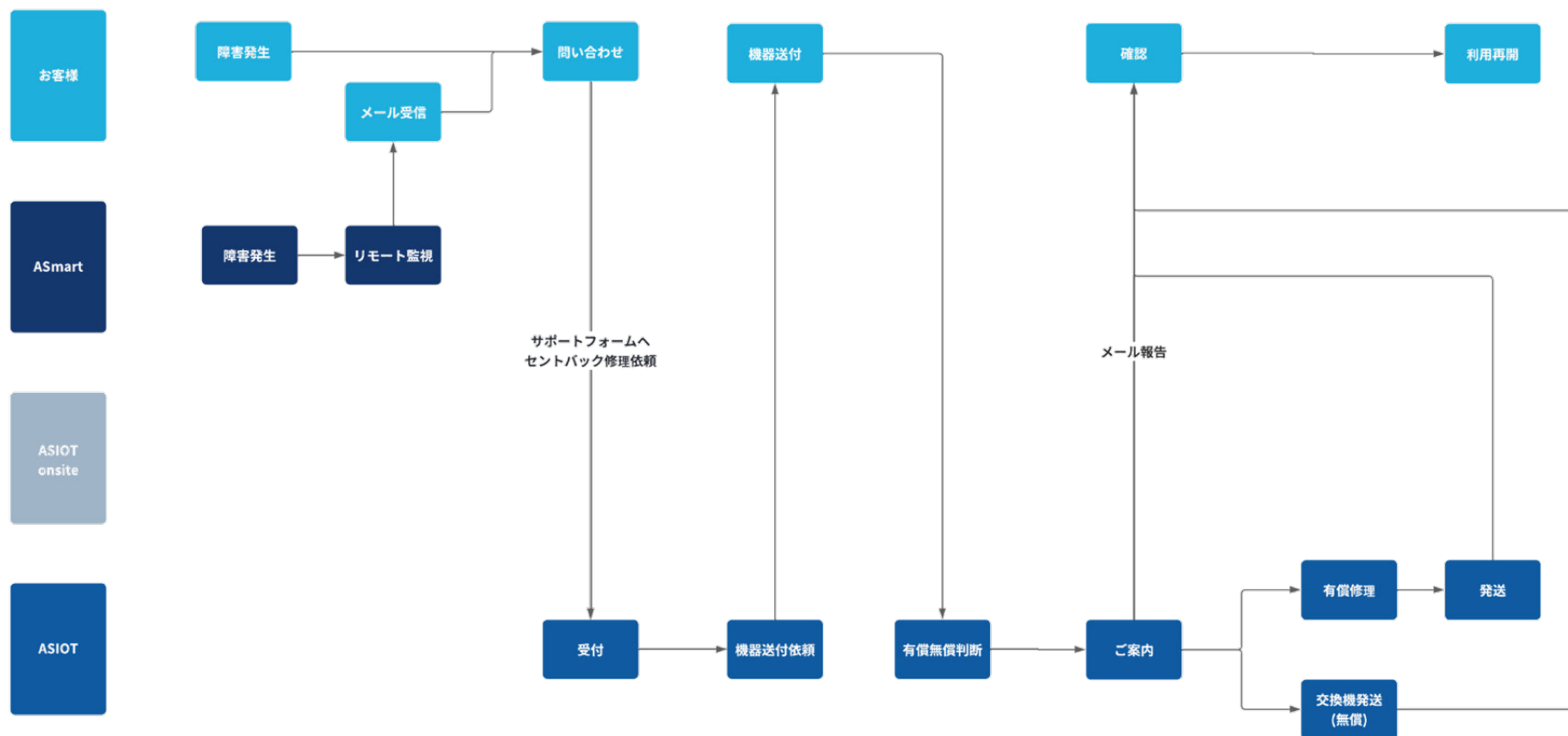
駆けつけ保守フロー

サポートフォームからお申し込いただけます



修理・交換フロー

サポートフォームからお申し込いただけます



改版履歴

版数	日付	改版内容
1.0.0	2025/3/9	初版発行

あらゆる現場をIoT化する

